

第3巻第9号
通巻第44号

中野ステートへの道？

中野区が住基ネットからの離脱を決めた。いままぜ？ まさか杉並区のもの？ そんなバカな。中野区には中野区の考えがあ

るに違いない。新宿と杉並に挟まれて、都心と武蔵野に挟まれて、あゝ、中野区よ、どこへ行く。

Gレポート 最終回

一般的な案内については、これこそ十分な準備がされてなかったと言っべきだろう。

高速バスでターミナルに、あるいは列車で街の中央駅に着く。どうやってスタジアムへ行くのかわからない。実際には無料のシャトルバスが次々と運行されるのだが、その案内が皆無なのだ。スタジアムからのバスがどこから出発するのかも、全く看板もなにもない。しょうがないから聞けば、親切に教えてくれるのだが、人によって違うことを教えてくれる。

日を重ねると慣れるもので、こういうサービスがあるはずだ、と先回りして手を打てるのだがそれまでは大変なことだった。少し大きなスタジアムで、さまざまな行き先のシャトルバスの停留所の看板があると思ったら、表記はすべてハンゲルで英語すら書かれていない。これで

(二面に続く)



特派員Gリコメンディド
ビューチフル・コリアン・ガールズ

発行所 東京都杉並区成田東4丁目3番44号-1 〒166-0015からす新聞本社
からすホームページ <http://www.go-karasu.com/> 投書・お問い合わせのE-mail : colors@go-karasu.com

人はいろいろなことから学ぶものである。良い師、良い作品、そんなものから学ぶところが多々あるのは当然であるが、反面教師という表現があることからわかるように、悪い師、悪い作品からだって、何かを得る場合も決して少なくはない。

そう考えながら、世の中を、自分の日常を眺めてみると、普段は簡単に通り過ぎてしまっただけの光景の数々、何気ない一挙手一投足といったものにさえ、何が目に見えるのでもないか。もっとも、自身のあらゆる所作、眼前のあらゆる景色に「まぶしさを留めて」は、なかなか前に進むことがかなわない。そんな目で眺めると、私はどんなことを思い出すのかということ、まあ、例によって、他愛のない、雑駁とした……。本日は、些が尾籠な話題で恐縮だが、例えば、ある日の憚りでの思いつき。小水の話である。

男性が立った状態でおしっこをする場合、尿の落下の過程には何センチメートルかの距離がある。御存知の向きも多いと思われるが、エネルギーの形態のひとつに位置エネルギーなるものがある。質量×重力の加速度×高さ」というような公式を暗記させられた経験を持つ人も少なくはないだろう。人によって量も高さも異なれど、尿の質量とその落下距離に重力加速度を乗ずれば、そこにはそれなりのエネルギーが存在すること、明白。便秘で苦しむ人という話はよく耳にするけれど、おしっこが出ないで苦しむ、という話は稀にしか聞かない。つまり、世界の何十億かの人々が当たり前のように毎日何回かはおしっこをし続けているわけで、一人が一回に放つエネルギーは微々たるものであることも、世界中

のおしっこの総力を結集すれば、それなりの大きさにすることは必定。

熱エネルギーのことも忘れてはいけない。大雑把に言って、水一グラムを一度変化させるのに必要なエネルギーは一カロリー。どれぐらいの尿が放出されるにせよ、排出される瞬間には、体温と同等であるはずであり、仮に、あなたの体温が三十六度だとして、外気の温度は夏も下り坂の二六度であったとしても、その差一〇度。水と尿では多少事情が異なるにせよ、尿が外気温に達するまでに一グラム当たり「さつと」一〇カロリー。体温の高い猫の尿などまで利用できるようなれば、世界中のおしっこが生ずる位置エネルギー・熱エネルギーの総量は如何に計りか、物理の心得がある人に計算してみてももらいたいものである。ばかにならないのではないかな。

もっとも、世界中の家庭や道端に散らばったエネルギーを集めて蓄積するシステムを開発し、実用化に至るまでには、かなりの期間とコストを要するかもしれない。しかし、如何に高くついて非効率な方法であったとしても、おしっこは、ある意味では、無尽蔵のエネルギーであり、未来の地球を支える貴重なエネルギー・基盤とならないとも、限らない……。ではありませうまいか。

(最終面に続く)

今日の紙面から

- 二面 国際面
- Gレポート最終回
- 三面 芸術面
- レイズギャラリー
- 四面 からすライブラリー
- 本 『李白詩選』
- アート 『田中稔之展』
- 映画 『クッキー・フォーチュン』
- 六面 英語面
- ほくのえいこのさがしもの

からす新聞は××××が母体となって、世界に文化と芸術を発信すべく発行しています。

誰でも自由に参加できます(無茶じゃない範囲で)。

(一面から続く)

は混乱するばかりだ。

スタジアムでのアナウンスは、「共催」というには信じられないことに、英語と開催国の言語でしかされない。日本も同じだったようだ。スタジアムの掲示や表記も同様である。三力国語でのアナウンスは時間をとり難いのもしれないが、全ての内容でなくとも、アナウンスの順序の違いはあっても、開催国の言語も使ったほうが美しいと思う。実際に人が交流するのだから。韓国での試合の手ケットには、同じように、英語とハンガルの表記しかないのである。

この世界の祭典のなかで、過去にその国の言語を奪ったことがあるという事実を突きつけられているような気持ちさえした。優勝トロフィーをカフィーに渡したのは、天皇でも金大中でも小泉首相でもない、ペレだった。過去の歴史、両国のメンツや主張が様々なことを困難にしたことは容易に想像がつく。

まだまだこんな準備不足のアジアでワールドカップを開催すべきではない、などと思ってしまう。ワールドカップというものは、もっともっと高みにあつてほしい、と思う。

それにしても、空港で、駅でバスを待っていた若者たち、太田の地元の食堂で黙々と食事をしてきたブルーのシャツを着た若者たち、彼らは、試合そのものの他にどれだけ韓国を感じ見たのか。五十歩百歩であることを承知の上で、そう思う。

この試合は、スペイン対ポルトガルになるはずだったのに、それも見られず、しかも韓国が勝ってしまったと本気で怒っていた、ESPANAと胸に描かれたジャージを、真っ赤な大群の中で纏っていた若い女性サポーター。確かに、僕もスペイン対イタリアを見たかった。でも、それは今日の試合よりも前に決まっていたこと。

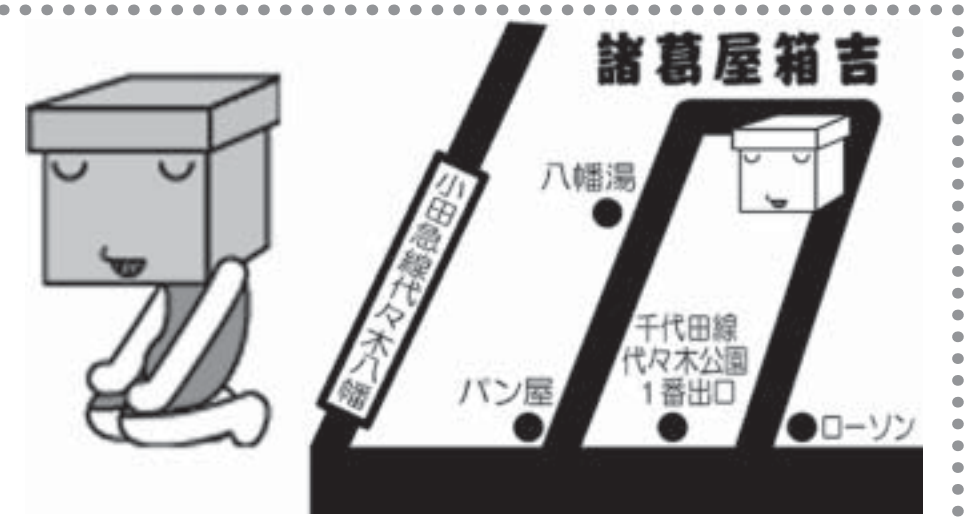
韓国がPKの末、スペインを破った後、スタジアムのすぐ外で、小さな子どもがお父さんに肩車されて、皆がするように小さな手でハイタッチをしたがっていたことや、誰もしてあげなかったので行きがかり上、してあげたのだが、スタジアムのすぐ外の高層団地の窓という窓から、太極旗が振られている光景を見ただろうか。



応援があまりに全体的で、国威発揚の場のようになっていることへの批判はあるにせよ、この国の人たちは、心底彼らの代表チームを応援していた。単なる祭りとしてではなく、あたかも国と民族を鼓舞するように。そして自分自身がそこに存在するかのよう。だから国中の田舎にサッカー専用スタジアムを造ってしまうのだ。ESPANAの彼女や、反対に、ひとつの方向だけを向いたような大多数の赤いサポーターたち。そのどちらでもない。ほんとうのフットボールが観たいのだ。

熟成された巧さと技はないけれど、韓国の粘りも、朴智星や李天秀の見事なまでの攻撃に徹する態度を天晴れと思った。しかしそれより何より、スペインのきれいなフォーバックのラインと統率されたディフェンスのライン、フィールド全体の試合のコントロールの隙のなさに目を奪われた。圧倒的なアウェーの声援と、暴力的なほどにエネルギーッシュな相手のスピードと積極性に対して、慎重に慎重に試合を運んだ。それは、まぎれもなく求めていたワールドカップだった。

日本の試合は楽しかっただろうか。息が詰まりそうな緊迫感があったかもしれないが、サッカーの楽しさなんてこれっぽっちもなかったな。中田



諸葛屋箱吉にて、岩間玲の組むアートユニット 架空 プロジェクトが作品を展示しています。 題して『架空 空間』。 お客さん参加型のボックスオブジェを発表。 場所：渋谷区富ヶ谷 1-3-3 スズキビル1階 小田急線代々木八幡徒歩2分 営業時間 12:00 ~ 20:00 水曜日定休

の、サッカー自体を楽しみたい、と言う言葉はその通り。だが、これが日本の実力なのだ。 前日、ウルサンでの準々決勝を観て、ウルサンからプサンへの帰りのタクシーは、四十キロくらいの距離を、ワールドカップ価格で六万ウォン。運転手は、翌日我々がカンジュへ行くことを知って、「カンジュ、イッタリキタリ」と何度もカンジュ(光州)への往復で自分のタクシーを使えと言ってきた。カンジュまでは東京から名古屋へ行くくらい距離がある。みんながカンジュへ行くから道路は混んで、バスでは間に合わないからという。もうバスの予約も

してあるからいいと断ってるのに、帰りにバスターミナルに寄って予約を取り消せと言った。構わない、不要だ、と何度言っても食いつかるから、ちょっと本気で脅したら静かになったのはよかった。しかし、暫くすると、また、「カンジュ、イッタリキタリ、カンジュ、イッタリキタリ」と始める。相手のディフェンスに何度かはね返されてもとにかく攻め続ける、彼の国の代表チームのような執拗な攻撃。これにはもう笑っしかなかった。楽しい。 (篠崎健一)

Rei's Gallery



セルフテーマ

A3画用紙、鉛筆、コピー

今年の夏はとっても忙しかった。大島に行って映画撮って、水戸に行って水戸芸術館の手伝いして、さらに来週はちよこつと大阪に行ってみたり（青春18切符大活躍）。

東京では作品を展示販売はじめて未体験ゾーンに足を踏み入れ、ワクワクそわそわしている日々が続いています。

いろんな場所に足を運んだお陰で、沢山の素敵な人に出会えて刺激を受けて感動もいっぱい出来ました。

そんな体験が出来るのも、ものづくりをやっていたからなんだなー、やってて良かったなーと改めて実感しました。

今回の作品は学校で制作したもので、自分の作品のコンセプトを伝える為の作品です。ちよこつと回りくどい言い方ですが、子供も大人も誰でも触れられて、ポップでカワイイ動物から高度な宇宙船までを一つ一つ積み重ねてつくれる、大好きなレゴのような私も作品をつくりつつつきたいというメッセージです。

L**b** Books

李白詩選

松浦 友久 (訳)、
ワイド版岩波文庫
岩波書店 2001年、
ISBN: 4000071726



酒と酒飲みへのポジティブな視線に、私は抛り所を見つけた
思いがするのである。
李白にはこのほかに数多く
酒の詩があつて、そのいずれも
がうなづいて杯を傾けたくなる
ものばかりである。(望月)

両人对酌すれば山花開く
一杯一杯復た一杯
我酔つて眠らんと欲す君しばらく去れ
明朝意あらば琴を抱きて来たれ
二人が差し向いで飲めば山の花も開く
一杯一杯また一杯
酔つて眠くなつたから今夜もう帰つてくれ
明日の朝その気があれば琴でも持つてまた
来てくれ

私は毎日酒を飲む。もはや酒が好きかどうかも
わからない。その私が唯一暗記している漢詩が李
白の次の詩である。

L**b** Art

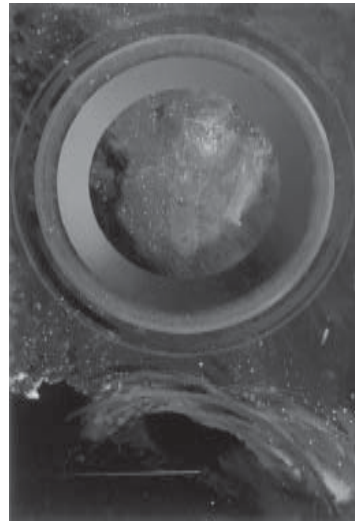
田中稔之展

油彩・コラーージュ

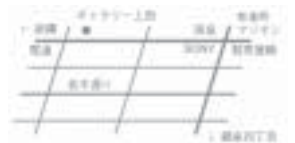
十月一日(火)〜十五日(火) 銀座 ギャラリー上田

夜光虫の光る海(B)、海ホタル、朝風、
潮騒(B)……。

遙かなる紺青を背景に、眩く光る無数の
点と雲。同心円状の光跡に分解され
た月のスペクトラム。一枚のキャンバ
スに果てしない宇宙の奥行きすら感じ
るようだ。油彩に加えて、どのような
コラーージュがなされてるか楽しみだ。
田中稔之は、一九二八年山口生まれ。若
いころ向井潤吉に師事し、その後国内
外を問わず大きな活躍をしてきた。常
に、円という抽象性の高いモチーフを
もちいながら、ひかりや風といった柔
らかいイメージを抱かせてくれるよう
に思う。白黒印刷なのが残念かな。(G)



日曜祭日休廊十一時〜六時半
中央区銀座六の四の八 曾根ビル四階



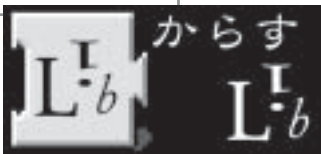
クッキー・フォーチュン (Cookie's Fortune)

2000年公開(アメリカ)

DVD: エスピーオー

監督: ロバート・アルトマン

出演: グレン・クロウズ、ジュリアン・ムーア、リヴ・タイ
ラー、チャールズ・S・ダットン、パトリシア・ニール



L**b** Films



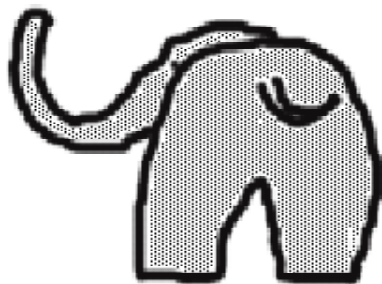
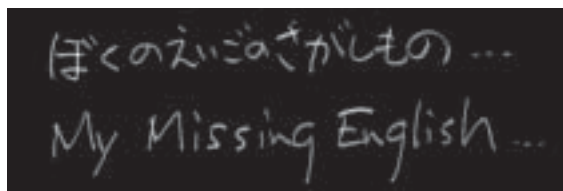
のんびりとした閉じられた田舎町映画の如く始まる。よ
くあるハートウォーミングだが何だかと形容されるような
お涙頂戴ものの映画かな、と疑念が走る。ところが、いつ
の間にか、事件が始まり、滑らかに物語の中に吸い込まれ
てしまふ。少々強引なところもあるものの、暖かいような
単にいい加減なような。馬鹿げているのだが、アメリカの
ぼんやりとした田舎町でならありそうだな、と思わせる
世界。

それぞれの役者も好演。この作品でのグレン・クロウズ、
ジュリアン・ムーアは他の作品とは些か異なる顔を見せる。
リヴ・タイラーもキュートなようなとっぴいような、あつ
けらかんとさっぱりした魅力。微笑ましい。

幾分足りない妹コーラ(ジュリアン・ムーア)は、姉カ
ミール(グレン・クロウズ)の抑圧に対する復讐をしている
のか、それとも、本当に足りないだけなのか。その結果、
カミールは狂ってしまったのか。その後、真実が判明して、
釈放されることになるのか。釈放されたとして彼女たちの
生き方はどう変わっていくのか。いくつかの疑問を観客の
胸に残し、想像力をかき立てる幕切れ、大したものである。

それにしても、リヴ・タイラー。ステイヴン・タイラー
を父に持ちながら、母の離婚後の恋人トッド・ラング
レンが本当のお父さんなのよ、と言いつつ聞かされながら育つ
たなんて。

(全太)



Everyone, from the commissioner to the bat boy,
is waiting for someone, anyone, to finish this game!

(たれもが、コミッショナーからバットボーイまで、
この試合を終わらせてくれる 誰か、誰でもいいから
待ち望んでいます)

some と any

2002年、ミルウォーキーのミラーパーク球場で行われた大リーグのオールスターゲームは、延長11回表を終わって7対7のまま。すでに投手を使い果たしていた両チームの監督の要望をコミッショナーのセリグ氏が受け入れる形で、11回裏でのゲームの打ち切りが決められた。結局試合は引き分けに終わり、球場内は大ブーイングの嵐となった。

I eat some kinds of vegetables.
「ぼくは(限定的に)いくつかの種類の野菜を食べる」(あとは嫌いだ)

I eat any kinds of vegetables.
「ぼくは(限定せずに)どんな種類の野菜でも食べる」 肯定文にも any が使える。

some と any については、ふつう中学一年でこう教わる。
「some と any は両方とも意味は同じで『いくつか、いくらか』。ふつう、肯定文では some、否定・疑問文では any を使う」
そこでこんな問題が出題されることになる。

こんどは否定文で。
I don't use some diet foods.
「私はいくつかのダイエット食品は使いません」 否定文にも some が使える。

問題 次の文を疑問文に書き換えなさい。

You have some interesting books.
「あなたは何冊か面白いを持っています」

I don't use any diet foods
「私はダイエット食品はまったく使いません」
こちらは「not ~ any = まったく ~ ない」で必ず教わる。

答えは、
Do you have any interesting books?
で、「some は any に変えなきゃバツだぞ」ということになっている。

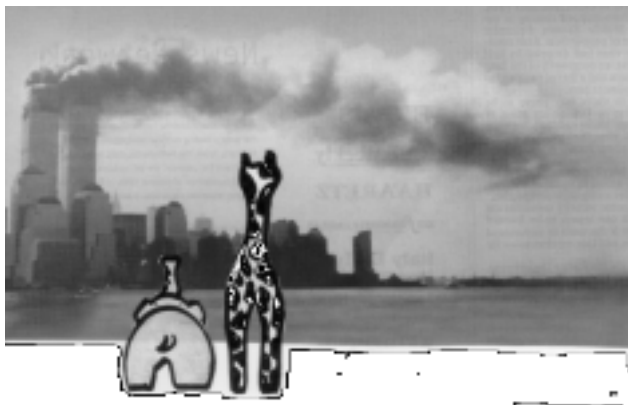
さらに、同じように someone, anyone などの合成語でも、必ず「肯定文 = some-、否定・疑問文 = any- 」というわけではない。やはり限定と非限定の使い分けがある。オールスターゲームを実況するアナウンサーによるものがそれである。
そのほかこんなものもある。

しかしこの「肯定文 = some、否定・疑問文 = any」というルール、100%すべての文について適用されるわけではない。つまり、some を疑問や否定で使うこともあれば、any を肯定文で使うことだって頻繁にある。ところが、中学で「肯定文 = some、否定・疑問文 = any」を刷り込まれてしまうために、そのことを知らないまま後に混乱を呼ぶことになってしまう場合も多いように思われる。

- something 「何か」
- anything 「何でも」
- somewhere 「どこか」
- anywhere 「どこでも」
- sometime 「いつか」
- anytime 「いつでも」
- (望月)

実際、
Do you have some interesting books?
は誤りではない。
それぞれの意味は次のように解釈できる。

「あなたは面白い本を持っていますか(1冊でも100冊でも何冊でもいい。何冊持っているかには関心が無い)」
「あなたは面白い本を何冊か持っていますか(1冊でもいいから、という聞き方ではない。5冊なり10冊なり、ある程度の数を想定している)」



I suppose it can happen any day, anytime, any place.
(どんな日にも、どんな時にも、どんな場所でも
起こり得ることかと思う)

つまりこの場合、二つの違いは、some = 「限定」、any = 「非限定」である。肯定文でそのことを確かめてみる。

京電力や関係省庁は全く信用ならない団体だ。何よりも先んぜられるべき安全に関して、嘘の報告をするなど、言語道断。罅が入っていても安全性には問題がない、という趣旨の言い訳をしている戯けがいたが、そのような者は早々に職を離れさせなければならぬ。実際に罅が入っていても構造上の安全が保たれるのかどうか、という問題なのではない。嘘をつく人間に安全を任せられるのか、という問題だ。また、そんな嘘つきをしつかり監督できない国家にも安全など任せられようはずがないのは火を見るよりも明らか。うーむ、どうすれば良いのだろう。全くもって厄介な国である。

(一面から続く)

良いことから悪いことから、あるいは、その

他、どうでもいいことからさえ、人は何かを学ぶことはできる。東京電力の悪事からも学ぶべきものはある。しかし、ここには落とし穴がある。悪い見本から学ぶことができるのは確かだが、それが可能になるのはそこに悪が存在したのちのことだ、ということ。つまり、悪から何かを学ぶことは悪が存在してこそ可能になるのだ。今回の東京電力の件のように、大事に至る前に発覚すれば良いけれど、余りに多くの被害者が出てしまったから学ぶというのでは、事情が違ふ。大惨事が生じたとしたら、そんな時でさえ何かを学ぶべきではあるけれど、本質的には、反面教師など存在しないに如くはない。反面教師という語を反面教師としたい、と思う私である。

マオくんよ、貴殿は如何が思われますか。本日も世界は反面教師に満ち溢れておりますぞ。

ところで、反面教師という語は、マオ・ツォーテンの言葉から日本に入ってきたとの由。そういう説明を聞くと、この語に特別な色が着いているような気がしてくるから不思議である。

(全太)



Ken-ichi Shinozaki, architect

4-3-44-1 Narita-higashi, Suginami-ku,
Tokyo 166-0015,
Voice : +81-3-3220-0644
Facsimile : +81-3-3220-0640;
e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp

篠崎健一アトリエ

あなたの平穏な生活を脅かすストーカーを本場米国で培った最新の技術と装備を駆使して退治します。あなた一人で悩まないでください。

ら致対策指導 いたします

相談無料
秘密厳守

防犯用品販売・防
犯対策指導も致し
ます。



produced by

P.D.Agency

tora@pda.co.jp

1843 N. Cherokee AVE: APT. #216

Los Angeles: CA 90028, USA

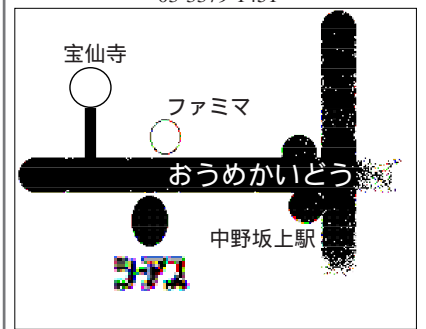
voice : +1-310-493-1001

facsimile : +1-323-466-5645

1クラス4人までの少人数制学習塾



中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
03-3379-1451



編集後記
からす新聞第二巻第九号通巻第四四号、無事、発行できました。
新聞に限らず、これから新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。
次号発行予定日は二〇〇二年九月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。